



Hello

we are NVLU

それぞれの道へ

刻んだ時を振り返る

これまでニチジュウの教育活動に尽くされ、定年退職を迎える教員の皆様をご紹介。
教員生活を振り返っていただきました。長い間ニチジュウを支えてくださり、ありがとうございました！

【略歴】
1982年3月(23歳)
北海道大学 農学部 卒業
1984年3月(25歳)
北海道大学大学院農学研究科修士課程修了後、
日本専売公社(現JT)に入社
1990年10月(31歳)
帯広畜産大学 畜産学部 生物資源化学科 助手
1993年3月(34歳)
文部省在外派遣研究員(ドイツ・ザールランド大薬学部)
1996年4月(37歳)
帯広畜産大学 畜産学部 生物資源化学科 助教授
2004年9月(46歳)
本学獣医学科 助教授に着任
2022年3月(63歳)
定年退職を迎える

田崎 弘之 Hiroyuki Tazaki 獣医学部獣医学科 生体分子化学研究室 教授

(写真)獣医生命科学研究科長、研究部長を務めた田崎教授は、研究室にて。

好奇心で大学と就職先を決定!?

——先生は大学も大学院もともに北海道大学なんですね。ご出身は北海道ですか？
(田崎先生、以下田崎)いいえ、僕は生まれも育ちも神奈川県鎌倉です。高校の時の修学旅行で北海道に行ったのがきっかけで、単なる好奇心で北海道大学へ行こうと思いました。
——それで北大に行けるのがすごいです…
(笑)主にどんな内容の研究をされていたのですか？
(田崎)「天然物有機化学」について勉強していました。修士課程修了後はこれまで好奇心で日本専売公社(現JT)に入社して、たばこのフレーバーなど、香料の研究をやっていました。でも僕が入社して1年後にJTになって…
——それからもたばこの香料の研究をされていたのですか？

(田崎)いえ、一切関係ない仕事をしていました。「海藻から有用な成分を探せ!」と命令があって何年も海藻採集したり、微生物農薬の研究をしたり…。そんなところに帯広畜産大学にいる知り合いから公募がある話を聞いて、帯広畜産大学に行きました。

日本一大きい大学から、日本一小さい大学へ。
——帯広畜産大学ではどんな研究をされていたのですか？

(田崎)学生時代にやっていた天然物有機化学ですね。それからドイツに留学した時に出会った先生がコケ植物を対象にした研究をしていて、それに影響されてコケ植物の研究もしていました。
——その後、本学に着任されたのですね。
(田崎)家庭の事情があって東京に戻らなくてはいけなくて、就職先を探していたら本学に出会いました。農学系だと日本一大きい大学(北海道大学)から日本一小さい大学(本学)に来てしまいました(笑)
3.11の思い出。
——本学での一番の思い出はなんですか？
(田崎)やはり東日本大震災ですね。ちょうど学位記授与式の日でした。当日は研究室で一晩過ごし、早朝にタクシーや電車など色々

使って4時間かけて帰りました。もう明日から無理だと思って、その足で中古のスクーターを買に行きましたね。
——先生がスクーターに乗っている姿が想像できません…なぜスクーターにしたんですか？
(田崎)当時は車を持ってなくて、気軽に買えるスクーターにしたんです。
健康を第一に、のんびりと。
——退職された後のご予定はありますか？
(田崎)健康が一番であることをこの1年で学びました。まずは家族とのんびり暮らしたいと思います。
——確かに健康が一番ですね。ありがとうございました！

思ひ出写真館



研究室から最初に卒業生を送り出した時の写真。皆若々しい。



ドイツ留学時。恩師ハンス・ベッカー先生と。



フィールドワーク中。恐らく学生が撮った写真。

人生の大半はニチジュウ。

——先生は学生時代からずっと内科ですか？
(小山先生、以下小山)ううん、学生時代は病理。でも先生と話して、「君のやりたいことは内科の方が合っている」と言われて内科に進んだよ。

——1992年にアメリカに留学されていますね。

(小山)僕たちの世代は大体留学させてもらっていたね。本当は2年くらいいる予定だったけれど、戻ってこいと言われて1年1か月で戻ってきました。その後は大きなことは何もなく過ごした。

——そうすると人生の大半を本学で過ごされたんですね。

ポリクリ実習であちこち駆け回る！

——長いニチジュウ生活の中で、印象に残っていることはありますか？

(小山)故本好元教授の提案で始めた、ポリクリ実習(臨床実習)かな。1978年度入学の学生から、修士積み上げ式の6年生獣医学教育が始まってね。屠場にまわす牛を大学に送り込んでくれた。当時の大学は6年生教育といったとしても設備が何もない。せめて教育内容はしっかりしたものをやりたいということで、本好先生がポリクリを始めたんですよ。

千葉の安房の方や東北にOBが多くて、病気になってしまった牛を譲ってくれた。そういう牛をもう一度ちゃんと診断から治療をしたり面倒を見て、そのあと病理解剖という一連の実習をやっていましたね。

こういう実習が始まる前から産業動物は内

科が担当していて、ちょっと分からない病気があると大学に電話がかかってきて、そうすると内野先生が隊長みたいな感じで自分の車に検査機器を積んで往診にいったわけ。

——産業動物の研究室ができてから内科は小動物に対象が変わったんですか？

(小山)牛の価値が高かった時は農家さんもなんとか治したいという気持ちが強かったし、上の先生は牛や馬の診療ができたのでその技術を頼って、色んなところから依頼があったね。でも個体診療が大切な時期から、時代が群管理に変わってきて、個体診療にあまり呼ばれなくなったのが実際のところですね。

ポリクリは他の大学も真似したいといってもなかなか対象が集まらなくて難しかったみたいけど、うちは色んなところから呼ばれて車を飛ばして行っていましたね。実習をやっている上から先生から呼ばれれば、夕方5時頃にこちらを出発して、館山に22時頃着いて診療して、撤収が0時、こちらに戻ってくるのが朝という生活もしていたね。一番強行だったのが山形に朝6〜7時頃着くようにこちらを出て、山形で牛を積んで、岩手で牛を積んで、最後宮城で牛を積んで帰ってきたら0時っていうようなこともありましたね。

内科のいろはを教えてくれた故内野元教授。

——内野先生が研究や臨床を指導してくださったんですか？

(小山)本好先生は外仕事が多くていらっやらなかったで、実質内科を切り盛りしてくれていたのは内野先生。小動物も内野先生と、

その下の三谷先生に指導してもらったかな。僕らの頃は全員病院に出るということがなかったで、基礎系の研究室に入ると臨床は全然分らない。型どおりの実習はやるけれどさ。本当に右も左も分からない状況で免許だけもって内科に入りました(笑)本当にゼロからのスタートでしたね、内科は。

フリーランスの内科医に！

——退職された後のご予定はありますか？

(小山)ない(笑)

——えっ！実習嘱託やプライベートでどこか行きたいなどもないですか？

(小山)ないね。でも臨床は続けていきたいかな。フリーランスでね(笑)

——流行りのフリーランスですね(笑)ありがとうございました！

思ひ出写真館



故内野元教授を訪ねた時の写真(2010年8月頃)。武蔵五日市にある黒茶屋にて。左から松本准教授、小山教授、故内野元教授、廣瀬前教授。

【略歴】
1980年3月(23歳)
日本獣医畜産大学獣医学科卒業
1981年4月(24歳)
本学獣医学科 副手に着任
1989年10月(32歳)
獣医学博士を取得
1992年4月(35歳)
メイヨークリニック(米国)心臓血管部門に留学
2012年4月(55歳)
付属動物医療センター院長
2015年4月(58歳)
日本獣医生命科学大学獣医学科長
2019年4月(62歳)
日本獣医生命科学大学獣医学部長
2022年3月(65歳)
定年退職を迎える

小山 秀一 Hidekazu Koyama 獣医学部獣医学科 獣医内科学研究室 教授

(写真)駆け出しの頃、力を注いでいた超音波診断で使用する超音波診断装置と。



【略歴】
1981年4月(24歳)
大学院修士課程修了後、農林水産省 農業技術研究所に入所。農業科に所属
1982年12月(26歳)
組織改革で農林水産省 農業環境技術研究所
(現 国立研究開発法人 農研機構 農業環境研究部門)、農業動態科に所属
1988年9月～1989年9月(32歳～33歳)
カリフォルニア大学サンフランシスコ校薬学系大学院に留学
1993年7月～1995年7月(36歳～38歳)
国際半乾燥熱帯作物研究所(インド・ハイデラバード)に留学
1998年4月(41歳)
農林水産省 食品総合研究所(現 国立研究開発法人 農研機構 食品研究部門)
へ異動。主に食品分析関係の部署に所属
2013年4月(56歳)
日本獣医生命科学大学 応用生命科学部 食品科学科 教授に着任
2022年3月(65歳)
定年退職を迎える

吉田 充 Mitsuru Yoshida

応用生命科学部食品科学科 食品安全学教室 教授

(写真)学生相談室にて。

留学していたインドでは、コブラに遭遇。

——先生は大学院修了後、農林水産省に入所され、2度留学しているんですね。インドへの留学は生活も大変そうですが、どうでしたか？
(吉田先生、以下吉田)研究所の施設は特に不便はありませんでした。夫が先にインドに行っていたので(旦那さんも農林水産省で、当時作物の国際プロジェクトで行っていた)、一緒に街中の家で暮らしましたが(笑)水が出ない、電気が来ないということは時々ありましたね。コブラが庭に出没することもありました。——ええ！コブラですか！？

(吉田)向こうではよくいます。研究所の圃場にもいて、コブラが出ると所内にお知らせがまわります。「危ないから圃場には1人では行くな」と言われてもたまに単独行動していましたが、車での通勤途中でコブラに遭遇しました。ロープが落ちていたかなと後ろを見たらコブラがこんな感じで(※手でコブラを示す吉田先生)こっちを見ていて、それ以降は1人で行かなくなりました。



退治やまんが
いるらしい…

ニチジュウの一番の思い出は、北海道実習！…で起こった大停電。

——2013年に本学に着任されて、一番印象深かったことはなんですか？
(吉田)2018年9月の北海道実習で北海道胆振東部地震による全道停電に遭ったことですね。電車も飛行機もストップした中、「全員大学へ連れて帰れ」と当時の学長の指示があり、なんとか連れて帰りました。
当時の北海道実習は、実習後も残りたい学

生は残れたでしょう？だから停電しているのに「北海道に残る」「親戚のところに行く」と言う学生達もいましたが、非常電源の灯りだけの夜や流れないトイレを経験して、次の日には皆「帰ります」って従ってくれましたね(笑)それで旅行会社の方が手配してくれたフェリーで新潟に行き、新潟からバスで大学に帰還しました。皆疲れ切っていましたが、私はほっといきいきしていました。こういう時は全国ネットを持つ旅行会社さんが強いことも実感しました。

できない人がいてもいい。

頑張れない人がいてもいい。

——先生は2014年から学生相談室員、そして2016年から今年まで、学生相談室長をされていますね。

(吉田) 8年間学生相談に関わってきて、いろいろな個性や価値観を持った人がいることを実感しました。本人が自分と向き合うことももちろん大切だけど、私たちもそのような「ダイバーシティ」を受け入れる心を持たないといけないと思います。何かができない人がいても

いい、頑張れない人がいてもいい。得意なところを伸ばして生きていけるようになれば良いと思います。

定年退職後は東京と山梨の2拠点生活！

——旦那さんは現在山梨にある実家のお寺の住職を継がれているとのことですが…

(吉田)小さなお寺ですけど、山梨市のほったらかし温泉の近くにあります。お寺の仕事が多くないから畑仕事もしていて、趣味でヤーコンなどを育てています。

——旦那さんも以前のお仕事を活かしたことをされていて、楽しそうですね。そうすると先生も山梨に移住されるのでしょうか？

(吉田)定年退職後も、少なくとも週に1日は非常勤で内閣府食品安全委員会の仕事で都心に来るので、今と変わらず東京と山梨の2拠点生活を続けることになりそうです。夫婦で生活拠点を行き来して、都会の文化と山梨の自然を楽しんで過ごしたいと思っています。

——2拠点生活、楽しんでください。ありがとうございました！

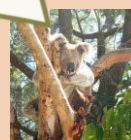
思い出写真館



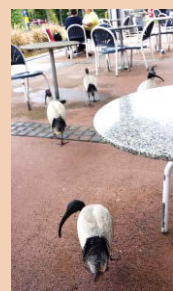
北海道から無事帰還できた時。当時の学長、学部長がお出迎えしてくださいました。吉田先生はいきいき。けれど学生はお疲れ。



取材も受けました。こげの中発がん物質を発生させにくい野菜炒めを作っている様子。



オーストラリア実習では野生のコアラやカンガルー、アイビス(トキ科の鳥)を見て感激！



CONGRATULATIONS ON THE AWARD!!

各賞受賞者をご紹介します。受賞者の皆様、おめでとうございます！

学長賞

在学期間を通じて学業成績が特に優秀で、かつ人物にも優れた者、各学科1名に与えられます。

👑 獣医学科	漆山 尚也 さん	👑 獣医保健看護学科	駒村 衣美 さん
👑 動物科学科	花島 季 さん	👑 食品科学科	松山 莉那 さん

同窓会長賞

同窓会より、各学科の専門性を活かした分野に進み、かつ、成績も優秀で、後進の模範となった者に与えられます。

👑 獣医学科	大矢 真里奈 さん	👑 獣医保健看護学科	塩田 萌恵 さん
👑 動物科学科	鈴木 みやび さん	👑 食品科学科	相村 愛 さん

公益社団法人日本獣医師会褒賞

公益社団法人日本獣医師会より、獣医学教育振興の一助として獣医学系大学獣医学科を優秀な成績で卒業する者に与えられます。

👑 獣医学科	菅野 光浩 さん
--------	----------

公益社団法人日本畜産学会褒賞

公益社団法人日本畜産学会より、在学中の学業に優れ、学部卒業後に大学院に進学し、畜産学会および畜産分野での活躍が期待される学生に与えられます。

👑 動物科学科	小渕 結翔 さん
---------	----------

樺賞

課外活動及び学術・研究活動、あるいはボランティア活動において、特に優れた成果もしくは、社会の模範となるような行為を行った個人または団体に与えられます。

👑 獣医保健看護学科	満田 遥花 さん
------------	----------

令和元年度体育祭実行委員長として大会を成功に導いた経験を活かし、コロナ禍の課外活動再開に貢献しました。また、多方面で活躍し全ての学生の模範となりました。

新たな旅立ちの時に

令和4年3月10日
日本獣医生命科学大学 学長

清水一政

ここで日本獣医生命科学大学を卒業・修了を迎えた大学院生、学部生の皆さん、そして定年退職を迎える教職員の皆さんにメッセージを送りたいと思います。

まずは卒業生・修了生の皆さん、おめでとうございます。また、ご家族をはじめ、関係者の皆さまには、心よりお祝いを申し上げますと共に、本学への日頃のご支援に対し、厚くお礼申し上げます。コロナ禍が続く中ではありますが、大変お目出たい“新たな旅立ちの時”を迎えることができましたこと、心より嬉しく思います。私たちを悩ます新型コロナウイルス感染症は、その克服のゴールはいまだ見えず、収束に向けた様々な努力が続けられています。日本獣医生命科学大学もこの難局に対して、遠隔授業の導入や感染対策を徹底した対面授業の実施、ICTの活用など、皆さんともにこの難局に向き合い、粘り強く学業に勤しみ、こうして卒業という日を迎えることができました。まさに日本獣医生命科学大学に集う全ての力の結集の結果であると、皆さんを誇りに思います。

本学の学生には生命科学を学ぶ学生としてその知識にふさわしい責任と義務を伴うことを自覚し、同世代の規範となる行動を取ること、そして学問だけではなく、色々な力、特に自立力を身につけることができるような教育を実施してまいりました。与えられるのを待つのではなく、自ら求め行動を起こし、まさに現在のような逆境をも我慢強く凌げる逞しさを身につけてほしいと、ことあるごとにメッセージとして発してまいりました。この考えは大学を卒業したあとも続きます。卒業後は更なる自立力を身につけ、必ずこ

の難局を乗り越えていけるその一人になってほしいと強く願っております。

今皆さんの心中を想いますとき、将来に対する期待と同時に、このコロナ禍における先行きの見えない不安に心を痛めていると思います。しかしここまで積み上げた皆さんの学業と自立力が必ず大きな力となって、新たな自分の道を歩んでいけると信じております。希望に満ちた社会を切り拓いていく人材として更に成長されますことを心から祈念いたします。

最後に、定年退職を迎える3名の先生方、小山秀一先生、吉田充先生、田崎弘之先生、定年退職おめでとうございます。祝福の言葉を述べましたが寂しい気持ちが溢れてまいります。小山先生は獣医学部長や動物医療センター院長として教育研究・大学運営への貢献だけではなく、若い頃は共に野球で汗を流したり、多くの時を共有してきました。吉田先生にはこのコロナ禍の大変な時に学生相談室長や保健センター長として、多くの学生を、また教職員を助けていただきました。田崎先生には獣医生命科学研究所科長や初代研究部長として、本学の特色ある研究分野振興のトップランナーとして大学を牽引いただきました。本当にありがとうございました。人生の先輩としてのアドバイスは「健康が第一」であります。今なお身に染みて感じております。どうか健康に留意されながらも新しい、楽しい時間を過ごしてほしいと思います。今後さらに、素晴らしい人生が送られることを心よりお祈りしながら、まだまだ、様々な形で引き続きご指導をよろしくお願い申し上げます。



写真左から：吉田教授、清水学長、小山教授、田崎教授

大学で自分が学んだことに自信を持ち、一生懸命、人生を切り開いていってください。ご卒業、誠におめでとうございます。

獣医保健看護学科
担任 近江 俊徳



卒業を祝して一言を贈らせていただきます。「桃李言わざれば下自ら蹊をなす」人生を楽しむためには人とのつながりが大切です。どうかいつまでも母校を愛し、笑いの絶えない人生を送ってください。

動物科学科
担任 長田 雅宏



ご卒業おめでとうございます。これからは皆さんの時代です。活躍を心から期待しています。

獣医学科
担任 原田 恭治



人間万事塞翁が馬。城塞の老人の馬がもたらした運命は、福から禍へ、禍から福へと変化した。人間：世間の意。

食品科学科
担任 八木 昌平



ご卒業おめでとうございます！自分の道を切り拓いていく皆さんを、これからも応援しています。

獣医保健看護学科
担任 吉村 久志



ご卒業おめでとうございます。大学で得られた知識、経験、そして友人たちは一生ものです！これからの長い人生楽しんでください！

動物科学科
担任 小柳 円



ご卒業おめでとうございます。いろいろなことにチャレンジしてください。これからの活躍を期待しています。

獣医学科
担任 道下 正貴



卒業おめでとうございます。日獣で培った知識や技術で社会に羽ばたいてください。

食品科学科
担任 原 宏佳

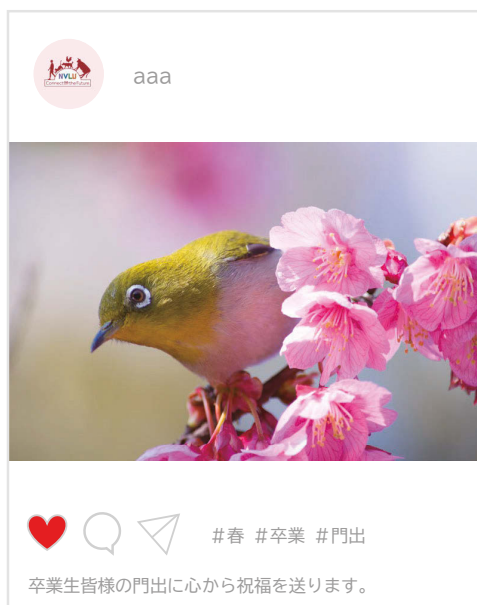


大きく羽ばたけ、
ニチジュウ生 ～担任からのメッセージ～

nichistagram

おめでとう、ありがとう

Related Hashtags: #ニチジュウ生の皆さん #ご卒業おめでとうございます! #20220310



Hello, we are NVLU(ニチジュウ) - 日本獣医生命科学大学報-第77号(2022年3月号) 2022年3月10日発行

協力(以下敬称略)/教職員: 田崎弘之 小山秀一 吉田充 原田恭治 道下正貴 吉村久志 長田雅宏 小柳円 八木昌平 原宏佳

その他協力いただいた皆様ありがとうございました!

表紙/濱こなみ

編集・発行/日本獣医生命科学大学 IR推進委員会(編集委員)松石昌典 近江俊徳 野瀬出 知久和寛 高橋勝 大沼友美 上野美可子 印刷/デジタルブレンド株式会社